

上尾国際教育センター

読解 シラバス

教育目標

日本語教育の参照枠に基づき、生徒が日常生活や学習場面における文章を読み、必要な情報を把握し、要点を理解するとともに、本文中の根拠に基づいて内容を判断することができる読解力を養う。

また、指示語、接続表現、言い換え、段落構成などに着目しながら文章の構造や論理の展開を理解し、段階的に筆者の意図や主張を捉える力を身につける。

さらに、自らの理解を振り返りながら読み進めることで、主体的に読解に取り組む態度を養う。

【読解】

B 2 (中級2)	テキスト	・必ずできる！JLPT「読解」N3
--------------	------	-------------------

到達目標 (Can-do)

1. 短い文章を読み、指示語や照応関係を手がかりに内容を正確に理解することができる。
2. 文章を読み、事実関係や時間・因果関係を整理して内容を把握することができる。
3. 必要な情報を本文中から探し、設問に対して適切に判断することができる。
4. 語句や表現の意味を文脈から推測しながら内容を理解することができる。
5. 文章の要点を捉え、重要な情報とそうでない情報を区別することができる。
6. 本文中の根拠をもとに、自分の解答の理由を説明することができる。
7. 読解活動を通して、自らの理解を振り返り、次の学習に活かすことができる。

評価の観点

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	語彙・文法・文章構造を理解し、情報を正確に把握できている。	内容を理解し、根拠に基づいて判断し、適切に説明できている。	振り返りや協働活動を通して、自身の理解を調整しようとしている。

学習方法

1. 事前課題として問題を解き、本文中の根拠箇所を確認する。
2. 授業内で自分の解答を見直し、理解のあいまいな点を明確にする。
3. ペアやグループで解答と根拠を説明し合う。
4. 全体解説により、読解のポイント（指示語・接続・言い換え等）を確認する。
5. 必要に応じて内容について意見を述べ、理解を深める。

6. 語彙や背景知識を補いながら読解力を強化する。
7. 振り返りを行い、次の学習に活かす。

シラバス (32 単位時間の学習計画)

〈週 4 単位時間〉

学習内容・項目	学習のポイントと到達点	評価および学習支援
1. STEP1：ウォーミングアップ (L1) (ア) 指示語・内容一致・基本情報の把握 2. STEP2：練習問題 (L2～L4) (ア) 情報検索・理由判断・語彙推測・要点把握 3. STEP3：応用 (L5～L6) 4. 複数情報の整理・統合的理解 5. まとめ：模擬試験＋解説	STEP1：ウォーミングアップ (L1) 指示語や基本的な情報に着目しながら短い文章を読み、内容を正確に把握する力を身につける。 STEP2：練習問題 (L2～L4) 必要な情報を本文中から探し、理由や因果関係を整理しながら設問に対して適切に判断する力を養う。 STEP3：応用 (L5～L6) 複数の情報を整理し、要点を把握しながら文章全体の内容を統合的に理解する力を身につける。 まとめ (模擬試験) 読解問題において、本文中の複数の情報をもとに、内容を整理しながら文章全体の意味を理解する力を養う。	・本教材の模擬試験を活用し、読解における到達度を点数により評価する。 ・模擬試験による点数評価に加え、読解における言語活動 (情報把握・内容理解等) の達成状況を総合的に評価する。 ・本文の内容を正確に理解し、必要な情報を読み取ることができているかを確認する。 ・授業内活動において、解答の根拠を説明する力を観察し、評価の参考とする。 ・必要に応じて語彙や文法の補足を行い、読解の理解を支援する。 ・振り返りを通して、自身の理解状況や課題を把握し、学習改善に主体的に取り組む態度を評価する。

【読解】

B 2 (上級 1～2)	テキスト	・必ずできる！ JLPT「読解」N2
-----------------	------	--------------------

到達目標 (Can-do)

1. 文章を読み、指示語や接続関係を手がかりに論理の流れを理解することができる。
2. 段落ごとの役割を捉え、文章構成を把握することができる。
3. 複数の情報を関連づけて、根拠に基づいた判断を行うことができる。
4. 語句や表現の意味を文脈から適切に推測し、内容理解に活かすことができる。
5. 筆者の意図や主張を読み取り、その理由や具体例との関係を理解することができる。
6. 文章の要点と詳細を区別し、必要な情報を取捨選択することができる。
7. 本文の内容に基づいて、自分の理解や判断を説明することができる。

評価の観点

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	語彙・文法・文章構造および論理展開を理解し、情報を正確に把握できている。	複数の情報を関連づけ、根拠に基づいて判断し、内容を論理的に説明できている。	振り返りや協働活動を通して、自身の理解を調整しようとしている。

学習方法

1. 事前に問題を解き、段落ごとの要点や根拠に印をつける。
2. 授業内で解答の妥当性を再確認し、論理の流れを整理する。
3. ペア・グループで解答の根拠や判断過程を説明し合う。
4. 全体解説により、段落構成や論理展開を整理する。
5. 筆者の意図や主張について考え、簡単に意見を述べる。
6. 重要情報と不要情報を区別する読み方を身につける。
7. 振り返りを行い、読解方略の定着を図る。

シラバス (44 単位時間の学習計画)

〈週 4 単位時間〉

学習内容・項目	学習のポイントと到達点	評価および学習支援
B2 (48 単位時間) 1. STEP1：基礎 (L1～L2) 2. 照応・条件・因果・情報検索 3. STEP2：構造理解 (L3～L4) 段落構成・比較・図表・論理関係 4. STEP3：応用 (L5～L6) 抽象理解・主張把握・批判的読解 5. まとめ：模擬試験＋フィードバック	STEP1：基礎 (L1～L2) 指示語や接続関係に着目しながら文章を読み、論理の流れを理解する力を身につける。 STEP2：構造理解 (L3～L4) 段落構成や文章全体の展開を把握し、情報の関係性を整理しながら内容を理解する力を養う。 STEP3：応用 (L5～L6) 抽象的な内容を含む文章を読み、筆者の意図や主張を捉え、複数の情報を関連づけて判断する力を身につける。 まとめ (模擬試験) 文章の構造や論理を踏まえ、複数の情報をもとに、文章全体の意味を一貫して理解する力を養う。	・本教材の模擬試験を活用し、読解における到達度を点数により評価する。 ・模擬試験による点数評価に加え、読解における言語活動 (情報把握・推測・要点理解・論理関係の把握等) の達成状況を総合的に評価する。 ・正答だけでなく、本文中の根拠や論理関係 (接続・段落構成等) を適切に把握できているかを確認する。 ・授業内活動において、解答の根拠や判断過程を説明する力を観察し、評価の参考とする。 ・必要に応じて語彙や背景知識の補足を行い、読解の理解を支援する。 ・振り返りを通して、自身の理解状況や課題を把握し、学習改善に主体的に取り組む態度を評価する。